

東部療育通信-2021年6月号No. 2-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき誠にありがとうございます。
ございます。

今回のメールマガジンは「センターのCT」についてご紹介します。

まずCTの一般的な概略についてお話しします。

CTとは、Computed Tomographyの頭文字をとってCTといいます。CTは体の周りを回転しながら放射線(X線)を照射して、輪切りの画像を作成します。近年では、ヘリカルCTやマルチスライスCTといった表記を見ることがあると思います。少しややこしい表記ですが、CTのそれぞれの特徴を示しています。ヘリカルCTとは、ヘリカルスキャンという方式のことを示していて、寝台(検査の時に寝る台)を一定の速度で移動させながらCT検査を行うことをいいます。また、マルチスライスCTとは、1回の撮影で複数枚の輪切りの画像を作ることが可能で、よく16列、80列、320列と表記されており、数字の分だけ1回で撮影できることを意味しています。この数が多いほど一度にたくさん撮影することが可能になるので、呼吸を止める時間や検査時間が短縮されます。現在のCTのほとんどは、ヘリカルスキャンとマルチスライスを合わせて撮影しています。そのため、両方の表記で問題はありませんが、一般的にはマルチスライスCTという表記が多く使われています。

センターのCTは、開設以来16列のマルチスライスCTでしたが、2020年12月末に高速かつ一度に多くの撮影が可能な80列のマルチスライスCTへ更新されました。さらに、CT室の内装も新しくなりましたので、見学をご希望の際には、いつでも可能ですので、近くのスタッフまでご相談ください。

診療部薬剤検査科放射線室